

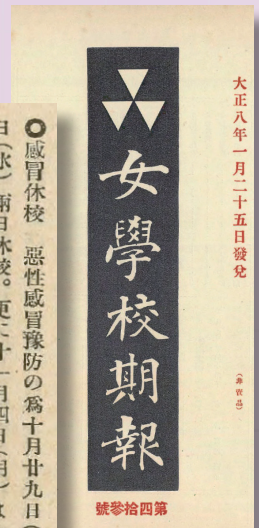
同志社大学

# 同志社社史資料センター報

目下各地ニ流行セル一種、流行性感胃  
ニ就テハ本月二十六日告諭第三号ヲ以テ  
一般ニ注意セル所ニ有之学校衛生上既ニ  
夫々御注意相成候事ト存候得共此際  
一層教職員学校醫ヲ督勵シテ本病ニ関ス  
ル衛生講話登校禁止等必要ナル處置ヲ  
採リ殊ニ左記個條御勵行相成様致度又  
病氣蔓延、傾向著シキ時ハ大事ニ至ラサ  
ル内ニ断然臨時休業ヲナシ豫防上無遺  
憾様御措置相成度依命此風又通牒  
候也  
大正七年十月二十八日

○感冒休校 悪性感胃豫防の爲十月廿九日(火)同三十日(水)兩日休校。更に十一月四日(月)より同十六日(土)まで二週間休校せり。今回流行感冒に罹りし本校職員生徒の統計は左の如し(十二月七日調)

	總數	内罹病者
専門學部生徒	七一、	三七、
普通學部生徒	二四六、	一三八、
全校職員	四六、	二八、



第17号  
2020年度

1. 卷頭言: 2020年度の報告にあたって
2. コラム: 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応記録  
同志社と感染症対策の歴史
3. 資料業務
4. 展示
5. 研究活動
6. 第178回新島襄生誕記念会
7. ハリス理化学館同志社ギャラリー
8. 新島旧邸
9. 委員会

# 同志社社史資料センター規程

2004年4月24日制定  
2004年5月 1日施行

改正 2010年 2月18日  
2012年 2月16日  
2013年10月26日  
2015年 3月20日

## (設置)

第1条 本学同志社社史資料センター(以下「センター」という。)を置く。

## (目的)

第2条 センターは、創立者新島襄並びに同志社関連資料の収集、整理、保存及び公開業務を継続、発展させ、同志社創立以来の歴史と伝統を後世に継承していくとともに同志社教育の充実と発展に寄与することを目的とする。

## (事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するために、以下の事業を行う。

- (1) 同志社社史資料の研究、収集、整理、保存及び公開に関すること。
- (2) 新島研究に関すること。
- (3) 同志社社史編纂に関すること。
- (4) 『同志社談叢』の発行に関すること。
- (5) ハリス理化学館同志社ギャラリーの管理運営に関すること。
- (6) 新島遺品庫の管理運営に関すること。
- (7) 新島襄旧邸の管理運営に関すること。
- (8) 新島襄及び同志社建学の精神についての啓蒙活動に関すること。
- (9) その他必要な事業

## (所長)

第4条 センターに所長を置く。

2 所長は、学長が任命し、センターの業務を統括する。

3 所長の任期は1年とし、再任を妨げない。

## (同志社社史資料センター委員会)

第5条 センターに同志社社史資料センター委員会(以下「センター委員会」という。)を置き、以下の事項について審議する。

- (1) センターの事業に関すること。
- (2) 社史資料調査員の候補者推薦に関すること。
- (3) その他必要な事項

## (センター委員会の構成)

第6条 センター委員会は、次の者をもって構成し、委員は学長が委嘱する。

- (1) 所長
- (2) 教務部長、事務局長、人文科学研究所長、歴史資料館長、広報部長及び法人事務部長
- (3) 女子大学、中学校・高等学校、香里中学校・高等学校、女子中学校・高等学校、国際中学校・高等学校から各1名
- (4) 学識経験者若干名

2 第1項第3号に掲げる委員は、各学校長の推薦により学長が委嘱し、その任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 第1項第4号に掲げる委員は、所長の推薦により学長が委嘱し、その任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 センター委員会は、所長が招集し、議長となる。

5 センター委員会は、委員の過半数をもって成立し、議事は出席者の2分の1以上の賛成をもって決する。ただし、第5条第2号に係わる議決は出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

## (運営委員会)

第7条 センター委員会に同志社社史資料センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会は、第3条に掲げる事項についてセンター委員会の要請に基づき、必要な事項を検討する。

## (運営委員会の構成)

第8条 運営委員会は、次の者で構成する。

- (1) 所長
  - (2) 第6条に掲げる者のうち所長が委嘱する者若干名
  - (3) 所長が必要と認めた者若干名
- 2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員会は、所長が招集し、議長となる。

## (事務室)

第9条 センターに事務室を置く。

2 事務室に職員若干名を置き、センターの事業、委員会に関わる事務、その他必要な事務を行う。

3 センターの事務組織は、同志社大学事務機構規程に定めるところによる。

## (社史資料調査員)

第10条 事務室に社史資料調査員たる職員若干名を置く。

- 2 社史資料調査員は、社史資料の収集、整理、調査、企画、展示等の業務を行う。
- 3 社史資料調査員の選考に関する事項は、別に定める。

## (事務の所管)

第11条 この規程に関する事務は、同志社社史資料センター事務室が行う。

## (改廃)

第12条 この規程の改廃は、センター委員会及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

## (附則)

この規程は、2015年4月1日から施行する。

---

## 2020年度の報告にあたって

---

同志社社史資料センター  
所長 小林 丈広

2020年度の同志社社史資料センターは、これまでとは大きく異なる活動を余儀なくされた。それは、言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受けて、本学でも入構制限や窓口閉鎖が行われ、日常活動を継続することすら大きく制約されたためであった。

2020年4月は新島旧邸で開催中の春の特別公開を中止するという苦渋の決断から始まった。その後、ハリス理化学館同志社ギャラリーで開催中の第21回企画展「古代計帳に載るムラ—山背国愛宕郡出雲郷をめぐる考古学—」(主催:歴史資料館)の休止、事務室の閉鎖、在宅勤務の実施、準備中の美術部クラマ画会の学内展や第22回企画展「『支え合う志』をつないで—障がい学生支援制度発足20周年—」(主催:学生支援センター障がい学生支援室・社史資料センター)の延期など、いずれもこれまでにない対応を迫られた。その間、所蔵史料の整理や対外調査などといった活動も計画の変更をせざるをえなくなった。

しかし、そうした中でも社史資料調査員らが相談して在宅でできる作業を選定し、これまでできなかった文字データの入力やデータベースの精査に取り組むなど、各自が活動再開に備えた。また、オンライン会議を駆使して、紀要への投稿を募集するなど、種々の刊行物を予定通り発行できるように準備を進めた。

2020年9月、秋学期の開始とともに、感染拡大予防措置(ガイドライン作成など)をとった上で社史資料センターの活動も徐々に再開した。ハリス理化学館同志社ギャラリーでは、入学以来学内でほとんど活動できなかった新入生に向けて、特別展「同志社の145年—そのとき、学生たちは何を想ったのか—」を開催した。また、11月及び2021年3月にはクラマ画会の学内展を、同じく3月には延期になっていた第22回企画展を開催することができた。いずれも、可能な限りの感染症対策を講じ、広報も控えめにしながらの開催であったが、こうした経験のひとつひとつが、来年度以降の本格的な活動再開の礎になることであろう。

こうした困難の中であったが、2020年7月には『同志社百五十年史』編纂委員会が発足し、12月からは編纂員を採用するなど、編纂に向けた作業を始めることができた。これも、当初目標からすると9ヶ月遅れではあったが、新しい作業スペースも確保し、気持ちを新たに事業に取り組んでいるところである。

以上、今年度はこれまでにない取り組みの中で、多くの方々にご心配をおかけするとともに、ご協力を頂くことになった。あらためて、社史資料センターの活動が同志社内外の多くの方々を支えられていることに気付かされる1年であった。あらためてお礼を申し上げ、今年度の報告とさせていただきます。



# 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応記録

同志社社史資料センター  
事務長 上田 裕保

## 1 新型コロナウイルス感染症の世界的流行

2019年11月、中国武漢市で原因不明の肺炎が発生、2020年1月、肺炎の原因は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)と確認され、3月、世界保健機関によりパンデミックに相当すると発表があり、4月、世界の感染者数は100万人を超え、世界各国は感染拡大を封じ込めるために、国外との渡航制限、国内での都市封鎖や学校閉鎖などの外出禁止措置が取られた。

2021年1月、世界の累計感染者数は1億人を超えた。1918年から1921年にかけて世界で大流行したスペインかぜをも凌ぐ「100年に1度レベル」の感染症に対する拡大防止への記録を以下に記す。

## 2 日本の感染状況と同志社大学の対応

2020年1月16日、武漢から帰国した日本人の感染が国内で初めて報告された。2月、同志社大学一般入学試験が全日程を無事終了した頃、横浜港のクルーズ船内で乗客乗員3,711人のうち712人の日本初のクラスター(集団感染)が発生した。この感染症への同志社大学及び同志社社史資料センターの対応を下記の通り列挙する。

学長(リスク管理本部長)は、文部科学省からの通知に基づき、「【新型コロナウイルス感染症】本学の対応について」第1報(1/31)(以下、第N報(M/D))で、学生・教職員に対して、外務省の感染症危険情報レベル3の地域(中国湖北省全域)への渡航・経由の自粛勧告がなされた。さらに2月末に卒業式・学位授与式の中止を、3月初めに入学式の中止を決定した。第3報(3/18)では、感染拡大防止のため、多人数の移動や一堂に会することを避けて、学年歴の変更は行わずに、教室等での対面授業の開始日を2週間遅れの4月21日からと決定した(第6報(4/1)で5月12日に延長)。

4月7日、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に対して、日本政府による「緊急事態宣言」が発出されたことに伴い、同志社大学は、この事態に可及的速やかに対処する必要があると判断し、翌日に緊急対策本部を設置した。

第7報(4/9)では、政府による緊急事態宣言、京都府による不要不急の外出と7都府県への往來の自粛、京都市による大学等への授業開始延期の要請が出たことを受け、(1)大学キャンパスへの入構制限、(2)図書館を含む大学各窓口閉鎖を4月13日～5月11日まで実施すると決定(第8報(5/7)で5月末まで延長)、5月12日以降の授業形態方針は、春学期の授業を原則ネット配信(オンライン型授業、動画配信、資料配信など)で実施することとした。

4月16日、緊急事態宣言は全国に拡大され、京都府は「特定警戒都道府県」と位置付けられた。

### 3 同志社社史資料センターの対応

#### (1) 新島旧邸

春の特別公開を開始したばかりの新島旧邸は、他大学で発生したクラスターや、本学の卒業式、入学式の中止を鑑み、同志社社史資料センター委員会の書面審議による承認を得て、4月2日午後から5月11日まで公開を中止した。その後もキャンパス入構禁止や大学各窓口封鎖が継続したため、新島旧邸は8月31日まで休館した。

#### (2) ハリス理化学館同志社ギャラリー

他大学の資料館や博物館、京都文化博物館や京都国立博物館は、感染防止のために2月末頃から企画展の中止や休館する施設があった。ハリス理化学館同志社ギャラリーは、来館者に対して、発熱、感冒症状等体調不良の場合の見学制限や、こまめな手洗い、手指消毒および咳エチケットの励行等の利用上の注意を呼び掛けて公開を続けたが、新島旧邸と同様にハリス理化学館同志社ギャラリー運営委員会の書面審議による承認を得て、4月10日から8月31日まで公開を中止した。

公開中止の決定に伴い、第21回企画展「古代計帳に載るムラ—山背国愛宕郡出雲郷をめぐる考古学—」(歴史資料館主催、3/20～4/26)は、4月9日で打ち切られた。3月末から開催を予定していた、美術部クラマ画会学内展は、学生支援センターからの自粛勧告を受けて、一旦、5月に延期していたが、課外活動が停止していたため、最終的には11月に開催された。また、第22回企画展「『支え合う志』をつないで—障がい学生支援制度発足20周年—」は、共催の学生支援センターと協議の結果、6月開催の予定を2021年3月開催に延期し、さらに展示期間中、同志社社史資料センターYouTubeチャンネルより担当者による展示説明動画を配信することとした。

#### (3) 第1部門研究(新島研究)

第1部門研究(新島研究)の研究会(年間11回開催)は、研究会員に高齢者が多く、学外者のキャンパス入構制限が施されたため、2020年度は、3～10月と2021年3月の8回を休会とし、11、12、1月の3回のみ開催した。

#### (4) 同志社社史資料センター事務室

同志社社史資料センター事務室は、第7報(4/9)・第8報(5/7)により4月13日～5月31日まで、窓口を閉鎖した。事務局長から、感染防止の方策とされた「3つの密」を避けるため、出勤者を通常の半分程度で業務を行う在宅勤務を所属長が発令できると通達があった(後日、国、自治体の要請を受け、理事長(同志社緊急対策本部長)から「感染症対策に伴う職員の勤務の取り扱いについて(第5報)」で「出勤者の7割減」に変更)。

この決定に基づいて、同志社社史資料センター事務室は下記の体制で事務室業務を行った。

- 1) 4月13日～5月31日の間、窓口を閉鎖し、E-Mailや電話にて対応する。この間、事務長とローテーション1名による2名の出勤者で残りの7割は在宅勤務を行った。
- 2) 在宅勤務者は、主にデータ入力業務を自宅で行った(コラム執筆、協議会報告文書作成、資料管理DB整理、図録校正、書簡翻刻、論叢執筆、資料調書・書簡目録・『同志社百年史』年表データ入力等)。
- 3) 在宅勤務者は、業務開始と業務終了時に所属長へ報告し、所属長は、当日の業務記録をまとめて翌日以降の連絡事項と共に在宅勤務者に連絡した。
- 4) 窓口や施設公開等の事務室業務再開に備えて、感染防止対策を講じた(受付窓口に飛沫防止用ビニールシート設置、社会的距離を確保する事務室レイアウト変更、網戸設置等の換気対策、空気循環用の扇風機設置、フェイスシールド及び非接触型体温計の調達)。
- 5) キャンパス入構制限中(2020年3～5月)は、学生アルバイトによる『同志社百五十年史』編纂の資料整理業務を休止した。

#### **4 同志社大学版新型コロナウイルス感染症拡大予防のためのガイドライン**

(以下、本学ガイドライン)

緊急事態宣言は、5月14日、東京、埼玉、千葉、神奈川の首都圏と、関西の大阪、京都、兵庫、それに北海道を合わせた8都道府県を除く39の県で解除され、続いて5月21日に、大阪、兵庫及び京都の3府県の解除が決定した。

第9報(5/21)では、春学期開講科目の授業ネット配信や大学各窓口業務の閉鎖(～7月27日)は継続されたが、在宅勤務は5月末で終了した。国の専門家会議で示された「新しい生活様式の実践例」等を用いて、大学キャンパスを段階的にコロナ禍以前の状況に戻す方針が決定し、6月1日から研究指導や実験・実習を行う場合の一部のキャンパス入構が認められた。

第10報(6/18)の本学ガイドラインでは、政府から自治体に向けた外出の自粛や施設の使用制限の要請の緩和や、段階的な社会経済の活動レベルを引き上げる移行期間を受けて、本学における4つの移行期間：フェーズ1(6/19～7/9)、2(7/10～27)、3(7/28～8/31)、4(9/1～20)が設けられ、卒論指導や語学試験の受験、レポート等試験の準備、実験・実習・実技科目を補完する取組、新たな運営方式による授業受講等による入構に関する制限緩和や解除及び規制の緩和がなされた。

本学ガイドラインは、1.基本事項、2.授業運営、3.各種入学試験の実施、4.施設・設備の利用、5.食堂・購買等の利用、6.キャンパス内での行事、催物、学会等の開催、7.正課外活動の実施、8.研究活動、9.窓口業務・事務体制、学内諸会議の実施、10.経過措置で構成され、具体的な感染予防の指針が示された。第10.1報(7/9)では、フェーズ2の措置、第10.2報(7/16)では、フェーズ3と4の措置が示された。

## 5 同志社社史資料センター業務と施設公開の再開

第11報(7/31)【改訂版】、第11.1報(8/25)【第3版】感染状況の変化や政府及び京都府の政策等への対応により、本学ガイドラインは改訂を重ね、秋学期がはじまる9月21日以降、感染拡大の予防を徹底しつつWITHコロナに対応して教育研究活動を展開することが明確になった。

大学各窓口業務は、本学ガイドラインに基づいて、フェーズ2の7月27日まで閉鎖、フェーズ3～4の9月20日まで開室時間を短縮して窓口業務を再開し(同志社社史資料センター事務室:10:00～16:00、昼休み11:30～12:30)、9月21日から通常(9:00～17:00、昼休み11:30～12:30)に戻った。

本学ガイドライン1.基本事項14)に「各施設の管理部課は、所管施設の利用に関する感染拡大予防のための運用基準を本ガイドラインに基づいて作成し、これらの施設利用者はそれぞれで定められた基準に従う」とあるため、同志社社史資料センターは、第1回同志社社史資料センター委員会(7/29)と、第3回ハリス理化学館同志社ギャラリー運営委員会(7/30)を開催して、新島旧邸及びハリス理化学館同志社ギャラリーにおける「新型コロナウイルス感染症拡大予防のためのガイドライン」を審議し、9月から公開を再開することが承認された。これらの委員会は、会議室の対面出席と「Zoom」を利用したオンライン出席を併用して開催された。

また、入構制限の緩和や解除に伴って、学生アルバイトの資料整理業務は、6月から大学院生の資料調査を再開し、10月から学部生の資料調査とデータ入力作業を再開した。

3～9月まで休会していた第1部門研究(新島研究)は、運営委員会を10月に開催して、11月から研究会は感染症予防対策を徹底して再開することを決定した。感染予防対策として、マスクの着用や手指の消毒を基本とし、研究会会場(至誠館教室:講義定員159名⇒コロナ定員44名)では十分な社会的距離を保ち、開催時間を30分短縮、「Zoom」によるオンライン参加を併用して開催した。オンライン研究会は、通常では出席困難な遠方の会員による報告や出席が実現するなど新しい形の研究会の再開となった。

## 6 2021年度に向けて

国内では、2020年12月から2021年1月に感染拡大の「第3波」が到来し、2021年1月、第2回目の緊急事態宣言が11都府県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、京都府、兵庫県、栃木県、岐阜県、愛知県、福岡県)に発出された。各国でワクチンの接種が進む中、日本でもワクチンの承認や接種手続きの議論が進められているが、まだまだ収束の兆しが見えない。第2回目の緊急事態宣言で文部科学省は、学校設置者及び大学等に対して一律に臨時休業を求めるのではなく、地域の感染状況に応じた感染防止策の徹底を要請されている。

本学は対面とネット配信の併用の授業を進めて学年末試験を迎え、入学試験も予定通り実施された。未曾有の事態が続く中、100年に一度のレベルを体感した2020年度の経験を活かして、2021年度を迎える。



# 同志社と感染症対策の歴史

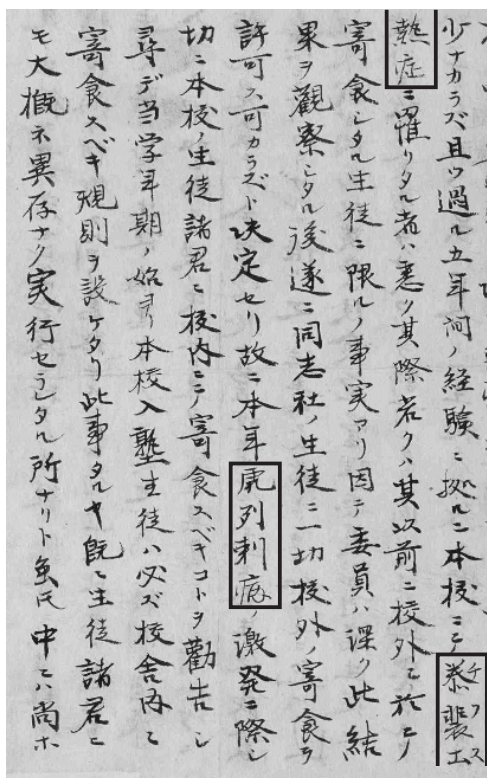
同志社社史資料センター

社史資料調査員 松居 宏枝

2020年の始まりにはまだ、「海の向こうで流行しているらしい感染症」だったものが、一年後の2021年には世界中で流行する病となり、変異種まで現れた。ワクチンの接種も、始まったばかりである。新型コロナウイルス感染症は、病気への不安感や医療体制のひっ迫という状況を生み出したのみならず、私たちの日常を大きく変え、経済や政治に影響がない国はもはやどこにもない。

同志社大学でも入構制限や休校、オンライン授業への切り替え、各窓口の閉鎖、職員に関しては在宅勤務などの感染拡大予防措置が取られた。現在も手指の消毒や検温など、感染の拡大防止策を講じつつ、大学としての機能を維持する努力が続けられている。

近代における感染症の流行は、学校の歴史とも決して無関係ではなく、学校現場はこれまでもさまざまな感染症と対峙してきた。考えられる感染症としては、コレラや天然痘、結核、スペイン風邪、ペスト、腸チフス、発疹チフス、赤痢などがある。同志社もまた例外ではない。本稿では、これまでに同志社が経験した感染症の歴史の一端をものがたる、下記の6点の史資料を時系列で紹介したい。なお『新島襄全集』4以外の史料は、特別展「同志社の145年—そのとき、学生たちは何を想ったのか—」で展示した。



同志社英学校の学生は、京都市内から通学できるものを除き、寮に居住していた。同志社は、学校運営上に差し障る問題として集団生活の中での疫病の発生に危機感をもっていた。左の史料は、同志社英学校の生徒、父兄、後見人に宛てられた寮の食事に関する文書である。同志社英学校の寮では生徒の滋養のために肉類や饅頭などを提供しており、そのため食費として二円二十五銭を前払いで徴収することに理解を求めている。その中で、食事と衛生の関わりについて言及している点が興味深い。この史料には前置きとして、生徒の飲食を管理することは、伝染病を予防することにつながるため、学校運営上非常に重要であることが書かれている。特に左に挙げた部分には、それまで同志社英学校でチフス熱症にかかった生徒は、校外で寄食（他人の家に身を寄せ、世話を受けること）をしていたことから、寄食の許可を出さないこととなったとある（「入寮並に食事に関する注意書」、同志社社史資料センター所蔵 新島遺品庫上0087、年代不詳、黒枠は筆者による）。



チフスに関しては、渋沢栄一が書いた新島襄への「注意」がある。1890(明治23)年1月16日付けの新島襄宛て渋沢栄一書簡で、渋沢は次のように書いている(新島襄全集編集委員会編『新島襄全集』4 書簡編Ⅱ、同朋舎出版、1989年、344頁)。

当地之医師某より承り候処ニよれば、御滞留之濤竜館近傍ニハ昨年ナドハ大に腸窒斯(筆者注:腸チフス)流行致候よし、但シ其源因ハ近傍之飲料水不良之よしに候ハ、御使用之飲料水ハステーション近傍ニ有之井戸之清水を御取ヨセ被成候方御安全之策かと奉存候、老婆心之至御注意迄ニ一寸申上置候也

これより前の年末から新島は胃腸に不調をきたし、関東での募金活動を中断して神奈川県大磯で療養していた。年が明けて1月11日には病状が悪化し、17日以降は危篤状態となり、23日に永い眠りについた。この渋沢の老婆心からでた「注意」の書簡を、新島が読むことはなかったであろう。

スペイン風邪(悪性感冒、流行性感冒)が世界中で蔓延していた時代はどうであったのであろうか。

京都府内務部長から各学校には、家族に罹患者が出た教師や生徒、児童の登校を禁止し、発病の兆候があれば速やかに帰宅すること、解熱後は4、5日登校しないこと、教室や体操場の塵埃を防止すること、運動会や修学旅行を延期することなどが求められた(「流行感冒予防注意」(「諸官庁学校往復文書綴」大正7年度、同志社大学長原田助宛て京都府内務部長上田萬平発信、1918(大正7)年10月30日付および28日付別紙)表紙写真左は一部)。

同志社女学校は1918(大正7)年10月から11月にかけて予防のため約2週間の休校措置をとった。このとき女学校の専門部生徒の約52%、普通部生徒の約56%、そして職員の約60%がスペイン風邪にかかっていた(『女学校期報』第43号、同志社女学校学友会・同窓会、1919(大正8)年1月25日発行、表紙写真右と中)。

翌年の流行時には、次の内容が京都府内務部長から各学校に送られた。その内容は、より具体的になり、かつ現在の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策でも提唱されていることに類似している点が興味深い。例えば、外出するときはガーゼマスクをすること、罹患者およびその家族と接触しないこと、人の集まる場所に行かないこと、なるべく電車汽車(特に寝台車)に乗らないこと、会合や集会をしないこと、うがいをする、予防接種を受けることが書かれている(「流感予防注意」(「諸官庁学校往復文書綴」大正8年度、同志社大学長宛て京都府内務部長大海原重義発信、1920(大正9)年1月13日付))。

同志社女学校は、1920(大正9)年1月にも、10日ほど授業が休止となった。しかしながら、『女学校期報』の記事を見る限り、この冬、同志社女学校で休校に入るまでにスペイン風邪にかかった人は、ほとんどいなかったようである(『女学校期報』第45号、同志社女学校学友会・同窓会、1920(大正9)年8月5日発行)。

以上、散発的ではあるが、同志社と感染症対策に関する史資料を挙げた。具体策として、チフスやコレラといった細菌性のものに対しては不衛生な飲食を禁じている。そして、今日の新型コロナウイルス感染症と同じくウイルス性の感染症であったいわゆるスペイン風邪には、今日私たちが励行しているように、マスクをし、人との接触を極力避けることが求められている。近代よりも衛生状態や医療制度が格段に向上した現代において、細菌性の感染症が流行することは減少した。しかしながら、ウイルス性の感染症に対する措置は、100年経った現代でもほとんど変わっていないことは大変興味深い。

# 資料業務

## 1. 資料整理

### 1. 資料業務

#### ・ 収蔵資料

遺品庫	6,602点
資料室	14,087点
整理済み資料	49,032点

#### ・ 蔵書冊数

図書	13,144冊
逐次刊行物	1,240タイトル

### 2. 参考業務

・ レファレンス数	702件
文献調査	211件
事項調査	456件
その他	35件

## 2. 資料提供(写真資料を中心に)

株式会社ぶらんとマガジン社  
一般社団法人日本電気協会  
さいたま市観光ボランティア・浦和ガイド会  
京都府立医科大学小児学教室  
日本基督教団高梁教会  
株式会社テレビマンユニオン  
国際日本文化研究センター  
株式会社化学工業日報社 大阪支社  
九州学院100周年記念歴史資料・情報センター  
岡山県立記録資料館  
京都社会福祉問題研究会

株式会社第一学習社  
株式会社東阪企画  
株式会社福島民報社  
株式会社フルハウス  
NHK大阪拠点放送局 制作部  
福島県会津若松市役所 観光課  
株式会社エディットプラス  
福島県観光物産交流協会  
同志社校友会 愛知支部  
株式会社リライトコンテンツ事業部

## 博物館実習の受け入れ

### 【同志社大学「館園実習」受け入れについて】

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響から、通知「令和2年度における学芸員養成課程に係る博物館実習の実施に当たっての留意事項」(令和2年4月13日2文企調第1号)を考慮した措置として、通常の「館外実習」はなく、「館園実習」を受け入れた。なお、受け入れにあたっては、入室前の手指の消毒、三密状態回避の徹底、換気の徹底など、予防対策を実施しつつ実習を行った。

受け入れた実習生は4名で、8月24日、25日、各日6時間の実習を行った(ただし、体調不良による欠席者は後日補講を実施)。実習内容は、座学(大学アーカイブズに関する講義、同志社ギャラリーの設立経緯と現状)、新島遺品庫及び資料室の見学と資料の扱いに関する指導、同志社ギャラリーの実地見学で、なかでも、資料の取り扱いに関する実演を重視した。



### 【同志社女子大学「博物館実習」受け入れについて】

本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、例年通り3名の学生を受け入れ、8月3、4、6、7、20日の5日間、毎日6時間の実習を行った(爆破予告の影響で8月5日実施予定分を20日へ振替)。実習では、紹介したい資料1点選択させ、その選択理由や展示方法などを最終日に発表することと設定し、同志社大学に関連した座学(大学アーカイブズと同志社ギャラリーの設立経緯と現状)の後は、企画展を作り上げる体験(展示の企画立案過程及びその方法、資料調査の方法と美術梱包の実践、展示替えの補助の実践)を中心に実習を進めた。最後に、実習で学んだ内容を反映して、各自が最終日のプレゼンテーションを行った。





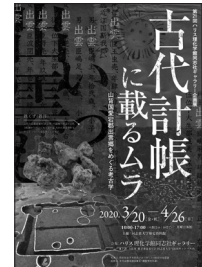
# 展 示

## 1. 展示活動

### ハリス理化学館同志社ギャラリー企画展示室

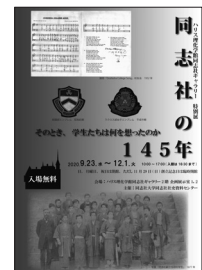
#### 第21回企画展

テーマ：古代計帳に載るムラ—山背国愛宕郡出雲郷をめぐる考古学—  
期 間：2020年3月20日(金・祝)～2020年4月9日(木)  
主 催：同志社大学歴史資料館  
来場者数：1,059人  
実施日数：18日



#### 特別展

テーマ：同志社の145年—そのとき、学生たちは何を想ったのか—  
期 間：2020年9月23日(水)～2020年12月1日(火)  
主 催：同志社大学同志社社史資料センター  
来場者数：3,156人  
実施日数：50日



#### 第22回企画展

テーマ：「支え合う志」をつないで—障がい学生支援制度発足20周年—  
期 間：2021年3月19日(金)～2021年5月23日(日)  
主 催：同志社大学学生支援機構学生支援センター障がい学生支援室  
同志社大学同志社社史資料センター  
協 力：全国高等教育障害学生支援協議会 (AHEAD JAPAN)、  
大学コンソーシアム京都、日本学生支援機構 (JASSO)、日本財団、  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)  
来場者数：994人 (2021年3月31日現在)  
実施日数：52日



### 常設展示室「同志社の今」特別陳列

#### 第31回

テーマ：同志社大学美術部クラマ画会 秋の学内展「秋立つ」  
期 間：2020年11月4日(水)～2020年11月29日(日)  
主 催：同志社大学美術部クラマ画会  
来場者数：1,221人  
実施日数：20日



#### 第32回

テーマ：同志社大学美術部クラマ画会「卒展&クラマ画会展」  
期 間：2021年3月23日(火)～2021年3月28日(日)  
主 催：同志社大学美術部クラマ画会  
来場者数：383人  
実施日数：6日



---

## 2. 展示協力

### 新島会館への展示協力

「新島八重の生涯」をテーマに、新島八重関係資料(レプリカ)と写真パネルを貸出

### 同志社京田辺会堂光館ラウンジ展への展示協力

上記で実施された第10期展「新島襄と同志社―建学の精神・新島の夢―」(会期：2020年4月～2021年3月)、第11期展「新島襄と自然科学―同志社のキリスト教主義と科学―」(2021年3月～2021年9月)において企画立案準備設営に関して協力

### 「イザベラ・バードが見た日本」への展示協力

今出川図書館が主催する上記企画展(会期：2020年4月1日～2021年3月24日)へ書籍『日本奥地紀行』／“Unbeaten tracks in Japan”1点を貸出

### 「同志社女子教育と体育・スポーツ」への展示協力

同志社女子大学史料センターが主催する上記企画展(会期：2020年8月1日～2021年8月31日)へ同志社関連資料画像11点を提供

### 「明治のたばこ王 村井吉兵衛」への展示協力

たばこと塩の博物館が主催する上記企画展(会期：2020年10月31日～2021年1月26日)へJ.C.ペリーの肖像写真1点を提供

### 「波多野培根―同志社と西南学院を支えた教育者―」への展示協力

西南学院大学博物館が主催する上記企画展(会期：2021年3月1日～2021年5月31日)へ同志社関連資料画像3点を提供

### 「開館20周年記念 安中市ふるさと学習館 企画展」への展示協力

安中市学習の森ふるさと学習館が主催する上記企画展(会期：2021年3月1日～2021年7月5日)へナイアガラ滝の滝見物写真1点を提供

---

## 地域協力

- ・2020年10月9日(金)～10月12日(月)源氏藤袴会主催の2020年香りが誘う京都の文化と歴史「藤袴祭」でスタンブラリーに協力



# 研究活動

第1部門研究(新島研究)の研究会や機関紙の刊行は次の通りである。

## 1. 第1部門研究(新島研究)研究会(代表 横井 和彦)

第191回例会	2020年11月9日(月) 「私の理解する新島襄」 報告者：井上 勝也
第192回例会	2020年12月14日(月) 「新島襄 日本の私立大学の父」 報告者：大越 哲仁
第193回例会	2021年1月18日(月) 「新島襄の遺墨より」 報告者：安森 ソノ子

### 第1部門研究(新島研究)運営委員会(2020年度)

横井 和彦(代表)、生田 香緒里、井上 勝也、北垣 宗治、小崎 眞、工藤 尚子、森 一郎、森永 長壹郎、本井 康博、大鉢 忠、大島 中正、竹山 幸男、山本 真司

## 2. 第1部門機関誌

『新島研究』第112号 A5判 63頁 2021年2月12日発行

論 叢	新島七五三太の英語の語彙 黎明期の頌栄と同志社一頌栄創立者アニー・ライオン・ハウを中心に一	三好 彰 森田 喜基
資料紹介	徳富蘇峰記念館所蔵 山本覚馬・新島八重書簡の翻刻と解題	吉海 直人
エッセイ	私の理解する新島襄	井上 勝也

### 『新島研究』編集委員会(2020年度)

横井 和彦(委員長)、生田 香緒里、井上 勝也、北垣 宗治、小崎 眞、工藤 尚子、森 一郎、森永 長壹郎、本井 康博、大鉢 忠、大島 中正、竹山 幸男、山本 真司



---

### 3. 機関誌

『同志社談叢』第41号 A5判 192頁 2021年3月1日発行

論 叢	同志社草創期におけるハリス理化学校の運営 同志社大学音楽部活動からプロの音楽家への道程—太田黒養二に焦点を当てて(一)—	柏居 宏枝 仲 万美子
資料紹介	クルーガー図書館の創設と存続に貢献した同志社人たち —京都国際文化協力会と浅沼園子— 在華プロテスタント宣教師の日記に見える日露戦争末期の京都・神戸・大阪 増野悦興の晩年の『日記』と日本基督教同仁教会(一)	坂本 清音 土肥 歩 滝澤 民夫
目 録	新島襄関連の文献目録(39) 購入資料・受贈資料目録	

『同志社談叢』編集委員会(2020年度)

小林 丈広(委員長)、伊藤 彌彦、物部 ひろみ、大島 中正、山下 麻衣、横井 和彦

### 4. 刊行物

『同志社大学 同志社社史資料センター報』第16号(2019年度)  
(2020年4月発行)

『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集2021』  
(2021年3月発行)

『新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』編集委員会(2020年度)  
竹山 幸男(委員長)、井上 勝也、森 一郎、横井 和彦

# 第178回 新島襄生誕記念会

日時：2021年2月12日(金) 17：30～18：30

場所：同志社大学寒梅館ハーディーホール

## 表彰

第28回新島研究論文賞

本井 康博(元同志社大学神学部教授)

第28回新島研究功績賞

小原 克博(同志社大学神学部教授、同志社大学良心学研究センター長)

## 新島襄生誕記念懸賞論文(2020年度)

### 【中学校の部】

最優秀賞

村島 美葉子(同志社女子中学校1年)

「戦時下の苦難をどのように乗り越えたのか～COVID-19禍の年に考える～」

優秀賞

加藤 萌衣(同志社女子中学校1年)

「新島襄の志を支えたものとは」

河田 あさひ(同志社女子中学校1年)

「3人の母にみる理想の女子学生像とは」

佳作

古田 咲来(同志社女子中学校1年)

「同志社の決意～新島襄の遺志を継ぐ～」

傳法 美姫(風間浦中学校3年)

「新島襄の脱国を支えたもの」

### 【高等学校の部】

最優秀賞

藤本 美亜(同志社女子高等学校3年)

「星をうたう心～詩人・尹東柱と同志社が願った平和～」

優秀賞

徳田 怜那(同志社高等学校2年)

「新島襄はなぜ私立大学設立を目指したのか

～岩倉使節団 米欧教育制度調査の経験が与えた影響～」

西川 あいら(同志社女子高等学校3年)

「J.D.デイヴィスと女子教育～教育者が残した贈り物～」

新部 桜子(新島学園高等学校3年)

「なぜ内陸群馬県でキリスト教伝道は成功したのか」

佳作

奥村 玲海(同志社女子高等学校3年)

「ハワイの日系人に尽くした奥村多喜衛～生かされた同志社精神～」

## ハリス理化学館同志社ギャラリー

本ギャラリーはハリス理化学館（1890年竣工、1979年重要文化財指定）を2013年にリニューアルした展示施設である。同志社の歴史と創立者新島襄の今に息づく精神を2つの企画展示室と6つテーマに分けた常設展示室に所蔵資料を展示して紹介している。

開館時間 10:00～17:00（入館受付は16:30まで）  
 閉館日 日曜日（企画展開催中は開館）、月曜日、祝日、  
 冬期休暇の一定期間  
 実施日数 153日（企画展示室は70日）



2020年度入館者数（2020年4月1日～2021年3月31日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月10日～8月31日まで公開中止

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
総入館者	542人	—	—	—	—	1,678人
同志社のあゆみ	298人	—	—	—	—	505人
企画展示室	365人	—	—	—	—	417人
京都の中の同志社	363人	—	—	—	—	865人
同志社の今	349人	—	—	—	—	702人

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2,941人	2,903人	2,210人	1,555人	1,575人	3,237人	16,641人
694人	780人	819人	714人	716人	1,029人	5,555人
1,430人	1,230人	79人	—	—	994人	4,515人
974人	926人	953人	756人	604人	1,304人	6,745人
985人	1,221人	989人	960人	834人	1,307人	7,347人

## 新島旧邸

1875（明治8）年11月29日、同志社英学校がこの地に開校したことを記念し、建学の精神を体感する場として公開している。新島襄の私邸で、ボストンの友人J.M.シアーズの寄付によって1878（明治11）年に建てられた。1985（昭和60）年、調度・家具類を含めて京都市から有形文化財に指定された。建物の保護のため、公開と保存を両立する形に公開方法を見直し、通常公開は、旧邸の周囲から建物内部を見学に留め（建物内への入場は不可）、特別公開のみ、母屋1階と附属屋への入場を可としている。

開館時間 10:00～16:00（入館受付は15:30まで）  
 通常公開 9月～11月、3月の毎週火・木・土（祝日を除く）  
 特別公開 4月1日～2日午前、同志社創立記念日、3月20日～3月22日

2020年度見学者数

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

4月2日午後～7月31日まで公開中止

4月	5月	6月	7月
14人	—	—	—
9月	10月	11月	3月
298人	750人	561人	319人
合計	期間外		
1,942人	0人		





# 委員会

## 同志社社史資料センター委員会委員 (2020年度)

小林 丈広	同志社社史資料センター所長(委員長)	山田 邦和	女子大学現代社会学部教授
大島佳代子	教務部長	庄司 春子	中学校・高等学校教諭
西岡 徹	事務局長	藤井 宏樹	香里中学校・高等学校教頭
小山 隆	人文科学研究所長	平松 讓二	女子中学校・高等学校教頭
新 茂之	歴史資料館長	西田喜久夫	国際中学校・高等学校教頭
朝田 邦裕	広報部長	横井 和彦	経済学部教授
柳井 望	法人事務部長		

## 同志社社史資料センター運営委員会委員 (2020年度)

小林 丈広	同志社社史資料センター所長(委員長)	新 茂之	歴史資料館長
大島佳代子	教務部長	柳井 望	法人事務部長
西岡 徹	事務局長	山田 邦和	女子大学現代社会学部教授
小山 隆	人文科学研究所長	横井 和彦	経済学部教授

## ハリス理化学館同志社ギャラリー運営委員会 (2020年度)

新関三希代	副学長(委員長)	柳澤 政宏	総務部長
小林 丈広	同志社社史資料センター所長(副委員長)	柳井 望	法人事務部長
新 茂之	歴史資料館長	横井 和彦	キリスト教文化センター所長
梶山 玉香	法学部長	越前 俊也	文学部教授
辻内 伸好	理工学部長		

## ハリス理化学館同志社ギャラリー運営委員会部会 (2020年度)

小林 丈広	同志社社史資料センター所長(部会長)	中安 真理	文化情報学部助教
若林 邦彦	歴史資料館教授	小枝 弘和	社史資料調査員
浜中 邦弘	歴史資料館准教授	矢部 景子	社史資料調査員(2020年9月まで)
木谷 佳楠	神学部助教	松居 宏枝	社史資料調査員
井上 一稔	文学部教授		

## 徳富基金運営委員会 (2020年度)

八田 英二	同志社総長・理事長(委員長)	川満 直樹	商学部教授
徳富 次郎	社友	柳井 望	法人事務部長(幹事)
小林 丈広	文学部教授(同志社社史資料センター所長)		

## 『同志社百五十年史』編纂準備委員会 (2020年度)

小林 丈広	同志社社史資料センター所長(委員長)	大島 中正	女子大学表象文化学部教授
横井 和彦	キリスト教文化センター所長	桜井 希	中学校・高等学校教諭
山田 史郎	文学部教授	生田香緒里	女子中学校・高等学校教諭
越水 雄二	社会学部准教授	柳井 望	法人事務部長
山田 邦和	女子大学史料センター長		

## 『同志社百五十年史』編纂委員会 (2020年度)

小林 丈広	同志社社史資料センター所長(委員長)	山田 邦和	女子大学史料センター長
山田 史郎	文学部教授	柳井 望	法人事務部長
大島 中正	女子大学表象文化学部教授		

## 同志社社史資料センター

所長	小林 丈広
事務室	
事務長	上田 裕保
係長	竹森 宏和
社史資料調査員	小枝 弘和
社史資料調査員	矢部 景子 (2020年9月まで)
社史資料調査員	松居 宏枝

## 事務室

『同志社百五十年史』 編纂員	阿部奈緒美 (2020年12月より)
『同志社百五十年史』 編纂補助員	志賀 祐紀 (2021年1月より)
『同志社百五十年史』 編纂補助員	山口 潔子 (2021年1月より)
契約職員	森 智奈美
アルバイト	3名
研究補助員	1名

## 資料整理

学生アルバイト	交代勤務
大学院生	10名登録
学部生	31名登録

# 同志社社史資料センター利用要項

2009年5月19日制定  
2010年5月20日改正  
2012年2月20日改正

## (目的)

第1条 この要項は「同志社社史資料センター規程」の第3条第1号に基づき、同志社社史資料センター（以下「センター」という）が所蔵する資料等（以下「資料等」という）の利用に関する必要事項を定める。

## (利用に関する業務)

第2条 センターは、資料等の利用に関して次の業務を行う。

- (1) 閲覧
- (2) 複写
- (3) 貸出
- (4) 参考調査

## (公開と利用制限)

第3条 資料等は公開を原則とするが、次のものは利用を制限する。

- (1) 新島遺品庫資料
- (2) 新島旧邸文庫資料
- (3) 非公開を条件に寄贈・寄託を受けている資料
- (4) 破損または汚損を生じる恐れがある資料
- (5) 個人情報に関する資料
  - ア) 現存者の個人情報に関する資料については、「個人情報の保護に関する規程」(法人)と「同志社大学個人情報保護委員会内規」に基づく。
  - イ) 物故者の個人情報に関する資料については、以下のものの利用を制限する。
    - ① 没後50年未満のもの
    - ② 故人の重大な秘密であり、公開により遺族等に不利益を与える恐れがあるもの
- (6) センター所長（以下「所長」という）が特に指定する資料等。

## (利用時間)

第4条 資料等を利用できる時間は、大学が定める休日を除いた平日の9時から17時とする。

2 所長が必要と認めるときは、利用時間を変更することがある。

## (閲覧)

第5条 資料等の閲覧は、センター内所定の場所で行うものとする。

## (複写)

第6条 資料等の複写・撮影は、著作権法の範囲内で行うものとする。

- 2 破損の恐れがある資料等は、複写・撮影を制限する。
- 3 出版、放映、展示等のために複写・撮影する場合は、所定の申請書を提出し、所長の承認を得なければならない。

## (貸出)

第7条 貸出ができる資料等は、同志社大学学術情報システム（DOORS）に登録された図書とする。ただし、禁帯出図書及び逐次刊行物を除く。

2 貸出ができる者は、以下とする。

- ア) 同志社大学学生・教職員
- イ) 同志社女子大学学生・教職員
- ウ) 同志社大学と同志社女子大学の図書館利用カード所持者
- エ) センターが設置する部門研究の参加者
- オ) その他、所長が特に認めたもの

3 貸出冊数および貸出期間は、本学図書館の貸出要領に準ずる。

4 返却を延滞した場合は、当該資料を返却するまで貸出を停止する。

## (特別貸出)

第8条 出版、放映、展示等のため資料等を貸出する場合、利用者は所定の申請書を提出し、所長の許可を得なければならない。

## (紛失、汚損)

第9条 資料等を紛失・汚損したとき、所長は現物または現金による弁償を求めることができる。

## (参考調査)

第10条 センターは、利用者の求めにより次の範囲で参考調査を行い、情報を提供する。

- 1 同志社関係資料の検索
- 2 同志社史に関する事実

## (要項の改廃)

第11条 この要項の改廃は、同志社社史資料センター委員会において決定する。

## 附則)

この要項は2012年4月1日より施行する。

同志社大学  
同志社社史資料センター報 第17号

発行日 2021年4月30日  
編集・発行 同志社大学 同志社社史資料センター  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
Tel. 075-251-3042 Fax. 075-251-3055  
<https://archives.doshisha.ac.jp/>

表紙写真：

- 【右】『女学校期報』第43号(同志社女学校校友会・同窓会、1919(大正8)年1月25日発行)表紙。  
【中】同上73頁、74頁。内容については、本誌「同志社と感染症対策の歴史」参照。  
【左】「流行感冒予防注意」(「諸官庁学校往復文書綴」大正7年度、同志社大学長原田助宛て京都市内務部長上田萬平発信、1918(大正7)年10月30日付別紙)。記載内容については、本誌「同志社と感染症対策の歴史」参照。書き下しは以下の通り。  
目下各地ニ流行セル一種ノ流行性感冒ニ就テハ、本月二十六日告諭第三号ヲ以テ一般ニ注意セル所ニ有之、学校衛生上既ニ夫々御注意相成候事ト存候得共、此際一層教職員学校医ヲ督励シテ本病ニ関スル衛生講話、登校禁止等、必要ナル処置ヲ採リ、殊ニ左記個条御励行相成様致度、又病氣蔓延ノ傾向著シキ時ハ大事ニ至ラサル内ニ断然臨時休業ヲナシ、予防上無遺憾様御措置相成度依命此段及通牒候也。  
大正七年十月二十八日  
京都市内務部長 上田萬平